第71号 令和5年5月25日発行
山口県集落営農法人連携協議会（事務局：JA山口県）

集落営農法人だより

第15回山口県集落営農法人連携協議会 通常総会を開催しました。

令和５年５月１日、山口県セミナーパーク「講堂」で通常総会・研修会を開催しました。出席者数は、会員法人、関係機関等を合わせて 135 名でした。来賓を代表して、山口県農林水産部 三坂部長、ＪＡ山口県 金子組合長よりご祝辞を頂きました。

山口県農林水産部
三坂部長

ＪＡ山口県
金子組合長

連携協議会
原田会長

三坂部長からは、「農業を取り巻く環境は大変厳しく、担い手の減少や高齢化の進展に加えウクライナ情勢による資材価格の高騰など、極めて厳しい状況が続いている。県では昨年度、ＪＡグループと連携して省エネ対策に要する経費や肥料代、保険料の一部助成などに取り組んだ。今後も法人の経営安定が図れるよう、国に対して関連予算の確保や現場が組みやすい制度の創設などの要望を行っていきたい。」との、お話をいただきました。

また、金子組合長からは、「ＪＡ山口県では、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を基本目標とする自己改革の実践に取り組んでいる。今後も県をはじめ関係機関と連携を図りながら、担い手に寄り添う取り組みをよりいっそう進めていきたい。」と話されました。

１ 議案審議

１号議案：令和４年度活動報告及び収支決算について
２号議案：令和５年度活動計画及び収支予算について
３号議案：令和５年度会費について
４号議案：規約の改正について
以上の４議案が審議され、原案のとおり可決されました。
なお、総会出席の会員法人数は、１６８法人（うち、委任状１１６法人）でした。

２ 令和５年度活動方針及び活動計画

●活動テーマ
「持続可能な経営体を目指して」

●取組の方向性
設立後 10 年以上を経過する法人が大半を占め、経過年数とともに構成員の高齢化やリタイアなどで労働力が低下し、法人運営に支障を生じている法人も数多く見受けられる。一方で、設立当初より役員の変更がない法人や土地持ち非農家の増加により、役員の責任や業務への比重が過多になっている状況もある。加えて、新規に雇用した従業員の３割が離職しているなど、新規就業者の定着率の向上も大きな課題となっている。

今年度も、次代を見据えた組織体制の構築に向け、法人内資源点検を活用した中期経営計画の作成と役員および役員候補者を対象としたマネジメント研修ならびに働きや

すい環境を整備し、従業員の定着率や満足度の向上に資することを重点的に取り組むこととする。

●令和５年度活動計画

活動内容

（１）課題別研究会

① 経営管理研究会

・平成 30 年度からの法人内資源（ヒト、トチ、モノ、カネ、情報等）の点検活動の成果を踏まえ、10 年後の法人・連合体のあるべき姿の研究（法人形態、規模別を含む）

② その他制度の研究

（２）階層別研修会

①役員向け“事業承継対策研修”

就業者の定着率向上に向けた人材育成プログラムと労務環境の整備

②次期役員候補者向け“経営マネジメント研修”

大手企業の経営者から学ぶ「経営者としての素質と役割」

③従業員向け“ワークショップ”

働きがいのある職場づくり、自己の能力向上、提案

④オペレーター向け研修

機械等の基本操作・メンテナンス等

⑤経理担当者向け研修

・ソリマチ農業簿記、法人の決算、総会の運営等

ＪＡ山口県担い手支援課
藤光課長

（３）地域法人協の活動支援

・地域単位での法人内資源の点検活動を通じ、法人経営の更なる事業拡大や役員の世代交代などを円滑に実施していくことを支援

・各種研修会・研究会等の地域単位での活動を支援

（４）提言活動

・山口県知事との意見交換会

・山口県農林水産部との意見交換会

・ＪＡ山口県との意見交換会

・５県（大分、高知、広島、山口、島根）協議会の国への共同要請

（５）その他

・若手法人就業者への支援、優良経営体表彰

・法人協だよりの発行、ホームページの運営　等

３ 令和４年度山口県集落営農法人優良経営体表彰

総会では、３月１４日に開催した「令和４年度集落営農法人優良経営体表彰審査会」、３月１６日開催の「役員会」を経て決定された「山口県県知事賞」「ＪＡ山口県組合長賞」「山口県集落営農法人連携協議会会長賞」の表彰式を行いました。

この３賞については、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」を基本に、①農業所得の確保状況や経営成績の状況、②担い手の育成・確保状況、③多様な担い手の役割発揮の取り組み、④経営の先進性、⑤農地の集積・利用調整の取組等について審査が行われ、有終の美を飾られた以下の３法人が受賞されました。

【表彰法人】
〇山口県知事賞
（農）あいさいの里（柳井市）
代表理事　山重　義則
〇山口県農業協同組合組合長賞
（農）ファームつるの里（周南市）
代表理事　森次　高志
〇山口県集落営農法人連携協議会会長賞
（農）植柳ファーム（美祢市）
代表理事　柴岡　寛瑛

左から、原田会長、金子組合長、三坂部長、山重代表、森次代表、柴岡代表

４ 新役員体制について（報告）

令和５年度は役員改選の年に当たり、去る３月 16 日に役員会が開催され、協議会規約に基づき、新役員が選出されました。総会終了後より以下のとおり、新たな役員体制で活動されることが報告されました。

【新役員】
会　長　　秋本　清夫　（有）名 田 島 農 産（山口市）
副会長　　山重　義則　（農）あいさいの里（柳井市）
監　事　　川岡　康男　（農）吉田ファーム（下関市）

山口県集落営農法人連携協議会研修会を開催しました。

総会に引き続き、同会場において研修会を開催しました。

研修会では、令和４年度集落営農法人優良経営体表彰で山口県知事賞を受賞された（農）あいさいの里山重代表により「地域に貢献する農業」と題して、実践報告が行われました。

続いて、インボイス制度について、広島国税局 藤原国税実査官、中国四国農政局 溝手農業組織育成指導官より説明が行われました。

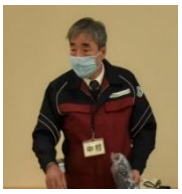
農林水産省経営局経営政策課との意見交換会に出席しました。

令和５年１月２５日、農林水産省（東京）で開催され本協議会より原田会長が出席しました。出席者数は、５県（大分、高知、広島、山口、島根）協議会長、関係機関等を合わせて１８名でした。

会議では、５県サミット（11/8 湯田温泉で開催）で採択された「国への提案事項」を５県協議会長を代表して原田会長から日向経営政策課長へ手渡し、その後約１時間の意見交換を行いました。

農作業安全研修会を開催しました。

東部地区（周南、岩国、南すおう）、北部地区（萩）の会員法人を対象に、以下のとおり開催しました。

開催日時	令和５年１月３１日 １３：００～１５：３０	令和５年２月２８日 １３：００～１５：３０
開催場所	南すおう統括本部 伊陸支所	阿武町役場 福賀支所
講　　師	中村敏男労働安全コンサルタント事務所(中村代表) 山口県農林水産部農業振興課(森岡主査、原田主任技師)	
参加者数	19 名	28 名
メインテーマ	刈払機	トラクター
内　　容	・農作業事故の実態 ・刈払機の構造 ・刈払機の点検・取扱マニュアル ・刈払機の実演 ・参加者間討議　等	・農作業事故の実態 ・トラクターの構造 ・トラクターの点検・取扱マニュアル ・トラクターの実演 ・参加者間討議　等
	 中村労働安全コンサルタント	 萩地域協 藤田会長　山口県農業振興課 森岡主査

熊本県地域営農法人協議会視察研修会を開催しました。

令和５年２月９日、山口県ＪＡビル「ホール」で開催し、熊本県、山口県両協議会の役員、関係機関等 48 名が出席しました。最初に、熊本県事務局の熊本中央会 山本副審査役が、熊本県地域営農法人協議会の概要について説明がありました。続いて、山口県事務局のＪＡ山口県 水嶋課長、和田担当が、山口県と集落営農法人の現状と法人間連携について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

山口県集落営農法人連携協議会
原田会長

熊本県地域営農法人協議会
大澤会長

熊本県地域営農法人協議会 大澤会長からは、「学んだ山口県の先進事例を参考にさせてもらい、今後の熊本県の法人間連携に活かしていきたい。」との発言がありました。

山口県参加者のみなさん

熊本県参加者のみなさん

令和４年度第４回役員会を開催しました。

令和５年２月９日１６：００より、山口県ＪＡビル「共用会議室４」で開催し、３２名が出席しました。

○ 協議・報告事項

（1）優良経営体表彰候補法人について　（２）合同法人説明会について

税務・労務管理研修会を開催しました。

山口中央会農政対策部
吉武次長

村上直美社会保険労務士事務所
村上社会保険労務士

令和５年２月２４日１３：３０より、山口県ＪＡビル「ホール」で開催し132名が出席しました。研修会では、インボイス制度を見据えた税務対応について山口中央会農政対策部 吉武次長が、労務管理については村上直美社会保険労務士事務所 村上社会保険労務士が、それぞれ説明を行い、その後、質疑・応答を行いました。

マイナビ農林水産ＦＥＳＴ福岡に出展しました。

令和５年２月２５日１３：００より、福岡ファッションビル「大ホール」で開催され、若手法人就業者サークル「百姓練磨の会」のメンバー２名が参加しました。

ＦＥＳＴでは、やまぐち農林振興公社、農業大学校、岩国市役所などと山口県コーナー４ブースの一角を担い、就農支援相談などを行いました。

令和４年度第２回経営管理研究会を開催しました。

令和５年３月１日１３：３０より、山口県ＪＡビル「共用会議室４」で開催し、５３名が出席しました。

研究会では、以下の９法人が法人内部の資源（ヒト、トチ、モノ、カネ、情報）についての点検結果の発表を行い、その後、山口県農業振興課 高橋主査と山口中央会農政対策部 吉武次長をパネラーに、総合討論を行いました。

○ 資源点検発表法人

地　区	法人名	役　職	氏　名
周南	有限会社 鹿野アグリ		氏村　俊裕
岩国	農事組合法人 グリーンファーム府谷	代表理事	尾崎　眞司
南すおう	農事組合法人 佐田	代表理事	友弘　啓
防府とくぢ	農事組合法人 下津領	代表理事	内田　武文
萩	農事組合法人 長小野	代表理事	杉山　淳一
		理事	佐内　忠治
宇部	農事組合法人 ふるさと吉見	代表理事	河村　守浩
		理事	上原　久幸

		理事	川　本　　幸　夫
下関	農事組合法人 朝生	代表理事	弘　中　　吉　繼
美祢	農事組合法人 おやま	代表理事	藤　井　　敏　通
		理事	長　井　　秀　美
長門	農事組合法人 おのじ営農組合	代表理事	上　田　　洋　一

福岡県関係機関視察研修会を開催しました。

令和５年３月２日１０：３０より、山口県ＪＡビル「共用会議室４」で開催し、１７名が出席しました。

研修会では、山口県事務局のＪＡ山口県 水嶋課長、和田担当が、山口県と集落営農法人の現状と法人間連携について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

農業の事業継承・組織再編研修会を開催しました。

アグリビジネス・ソリューションズ(株)
森税理士

令和５年３月１３日１３：３０より、山口県セミナーパーク「講堂」で開催し、107 名が出席しました。

研修会では、アグリビジネス・ソリューションズ(株)森税理士より、インボイス制度対応と農業の事業継承・組織再編、留意すべき政策の変更点などについて説明が行われ、その後、質疑・応答を行いました。

令和４年度集落営農法人優良経営体表彰審査会を開催しました。

令和５年３月１４日１３：３０より、山口県ＪＡビル「共用会議室４」で開催し、２１名が出席しました。

審査会では、審査委員長の大阪経済大学 山本教授をはじめ以下の審査員が審査基準に基づき、審査し表彰法人を決定しました。

○ 審査委員

所　属	所属部署・役職	氏　名
大　阪　経　済　大　学	情報社会学部　教授	山　本　　公　平
山口県集落営農法人連携協議会	会長	原　田　　道　昭
山　口　県　農　林　水　産　部	農業振興課　調整監	橋　本　　明　彦
山口県農林総合技術センター	経営高度化研究室　室長	白　石　　一　剛
全国農業協同組合連合会	経営企画部山口事務所　所長	三　好　　伸　洋
山　口　県　農　業　協　同　組　合	営農指導部　部長	市　村　　猛

令和４年度第５回役員会を開催しました。

令和５年３月１６日 13：30 より、山口県ＪＡビル「共用会議室４」で開催し、３３名が出席しました。

○ 協議・報告事項

（１）三役(会長、副会長、監事)の改選について

（２）合同法人説明会について

（３）その他

合同法人説明会を開催しました。

令和５年５月 10 日 13：00 より、山口県立農業大学校「体育館」に於いて、山口県立農業大学校と共同開催しました。（来場者：１３１名）

説明会には、求人エントリーした 18 のの会員法人が出展し、農業大学校の学生 57 名が参加しました。

連携協議会
秋本会長

連携協議会
山重副会長

山口県立農業大学校
福井校長

個別説明では、農業大学校生が 1 つのブースを 20 分ずつ一人平均５～６ブースを回り、法人の概要・特徴・アピールポイントなどについて法人担当者より説明を受けました。また、質疑応答も活発に行われ、たいへん有意義な説明会となりました。

秋本清夫会長から「このイベントを契機に、農大生のみなさんが集落営農法人への理解を深めてもらい、将来的には県内の農業法人への就業に結び付けて山口県の農業を盛り上げてもらいたい。」との発言がありました。

（株）アグリハウス安永

（農）ファームつるの里

（農）うつい

（農）二島東

（農）片山

（農）川西